

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	76	事業名	横断歩道滑り止め舗装事業費 7か所		事業の性質別	裁量的経費	区分		
予算事項名	大事項	高齢者・障がい者にやさしい道づくり事業費		中事項	横断歩道滑り止め舗装事業費 7か所		部課名	土木部道路建設課	
事業開始年度	平成 9 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(道路法) <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等(<input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等(電話番号	21-3422

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 誰もが安全で安心して利用できる道路空間のユニバーサルデザイン化を目指し、質の高い歩行空間を形成することを目的としている。
	【必要性】 今後高齢化社会を迎えると共に、高齢者、障がい者等が社会・経済活動に参加することが、地域・社会の発展にとって不可欠であることから、移動の利便性及び安全性を向上させる必要がある。
内容	役所、学校、病院などの歩行者が多い施設周辺を重点的に、歩道における段差の解消や、冬期間における歩行者の安全確保のための凍結抑制舗装整備を実施するものである。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		9,091	10,613	18,000	16,740	15,900	0
特定財源	国・道						
	市債	6,800	7,900	18,000	12,500	15,900	
	その他						
一般財源		2,291	2,713		4,240		
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.14 1,051	人工 0.13 938	人工 0.14 1,021	人工 0.13 948	人工 0.13 977	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	1,051	938	1,021	948	977	0
総事業費計(A+B)		10,142	11,551	19,021	17,688	16,877	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
段差解消・交差点	箇所	10	15		
横断歩道滑り止め舗装	箇所	5	7	7	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない。
------	--------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	交差点部などの段差が解消され、横断歩道の滑り止め舗装により路面凍結が抑制され、通行しやすくなったなどの成果が得られている。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	コスト・負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	適正
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	実施していないが、可能
評価結果から明らかになった課題事項など					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) コストの低減に引き続き努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	事業内容や必要性が、地域の状況により異なることから、類似事業としての比較はできない。
----------------------------	--